

教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること

教職課程担当教員や教職課程事務室担当職員は、全国規模や阪神地区を中心とした研修会および研究会等に参加し、関連法令改正の動向や学校現場での現状や課題の情報収集に努め、それをもとに教員養成課程小委員会において、本学の教職課程としての課題を協議し、迅速に対応する体制を整えています。

さらに教員養成課程小委員会での検討結果をもとに、教員養成カリキュラム委員会において、教職課程のカリキュラムに関することはもとより、教職課程における主要な課題を協議し、教員免許課程を置く学部学科および大学院研究科と緊密に連携をとりつつ、各種制度を整えて、実効性のある運用が行えるよう、一体となって取り組んでいます。

なお、特徴的な取組みについては次のとおりです。

①きめ細かい指導体制

教職課程履修開始となる「教職概論」の初回講義では教職に関する履修方法について説明を行い、毎学期履修登録期間には教職課程窓口にて履修指導を行っています。また、介護等体験については「介護等体験説明会」と「介護等体験事前講義」、教育実習については「教育実習申込み（内諾）説明会」と「教育実習正式依頼説明会」等を開催するなど、よりよい実習・体験が行えるよう、取り組んでいます。

②協定による小学校免許取得機会の提供

神戸親和女子大学（2023年4月より神戸親和大学へ名称変更）通信教育部との協定により、「科目等履修生」として所定の単位を修得することで、卒業と同時に小学校教諭一種免許状が取得できます。小中連携という観点から、隣接学校種である中学校教員免許課程との関連性においてより深く学ぶことが可能となっています。

③「だいけいだい教室」への参加

本学学生が先生となり、近隣の小・中学生の学習をサポートする活動を行っています。教職課程履修生にとっては、子どもたちに普段とは違う環境で学ぶことの楽しさや「わかる！」ことの感動を体感してもらうことにより、教育現場を疑似体験するよい機会となっています。

④本学卒業生である現職教員やその経験者と教職課程履修生との交流会の開催

2022年11月に同窓会支部組織である大樟教育研究会のご協力の下、全体講演会と学校種毎の分科会が対面で開催されました。教職課程履修生にとっては、学校現場の現状や課題を知り、また素朴な疑

問や意見を交換することを通じて、より具体的で臨場感のある知見が得られるよい機会となっています。

⑤教育実習生と指導教員とのコラボ企画

現代の教育実習生が遭遇する場面やそこでの思いを参考に、学生と指導教員が協働してラジオ劇風の映像を制作し、それを YouTube で広く公開しています。これにより、大学内の関係者に留まらず、広く中学校、高等学校などの外部方々にも、教育実習についての相互理解を深めることを目指しています。

以上